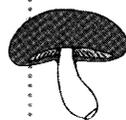


八王子でも土壌はほとんど汚染 シイタケなどまだまだ要注意

東京・八王子市民測定室 ハカルワカル広場 一宮志郎



2012年1月末に、市民による市民のための放射能測定室としてオープンしたハカルワカル広場は、100%ポランテニアの力で支えられながら、この1年5カ月間測定活動を続けてきています。

1800検体の数値を公開 1万ベクレルの土壌汚染も

この間に測定した検体数は、

■タケノコの検出率

項目	12年	13年
検体数	25	16
セシウム137検出率	56	25
セシウム134検出率	48	6
最高値 (Ba/kg)	35	21
平均値 (Ba/kg)	16	12

約1800検体になります。みんなの貴重な共有財産は、誰でもホームページで閲覧できるようになっています。そのなかで見えてきたことを、少しお伝えしたいと思います。

まず土壌汚染に関して。

八王子近辺の土は、11年の3月後半の雨に濡れない条件に恵まれた所を除いて、ほぼ100%汚染されていることは、測定活動を開始してすぐにわかりました。事故後2年以上たった今も、それはまったく変わっていません(庭や畑は100ベクレル前後が多い)。セシウムは、土壌表面近くに強く吸着するものなので、表土が雨水で流されていく分が、若

干の減少分になります。しかし、場所によっては表土がほとんど流出しませんし、逆に周囲から表土が流れて来てたまる所は、濃縮が進んで、汚染値が上がっていきます。

事故から2年以上も経つのに、日々濃縮が進んでいるために、未だに1kgあたり1万ベクレルもある高濃度の土が持ち込まれたことがあります。

家庭の掃除機のごみや、家中のほこりでも、今年になってさえ数百ベクレル程度検出されています。

八王子産のタケノコ 昨年の半分、25%から検出

食品の汚染状況は、多少は良くなってきたという傾向はあります。昨年測ったタケノコ(その多くは八王子近辺で採れたもの)のセシウム検出率は、約50%でした。それが今年測ったものでは、約25%に下がりました(表参照)。

検出されている測定値の平均も、去年に比べると今年は約25%減少しています。全体的に放射性セシウムの含有量が下がったので、検出限界値以下になる頻度が増えています。来年あたりさらに減るであろうとは思いますが、微量の汚染はまだまだ続くことでしょう。

シイタケに関しては、福島原発事故時と同じ原木を使っているものでは、残念ながら引き続きかなり高いレベルでセシウム汚染が続いています。

今年5月の測定結果の中にも、生シイタケで1kgあたり100ベクレルを超えるものも出ていました。生シイタケの丸焼きを、産地を気にせず安心してかぶりつける日は、まだ遠いといわなければなりません。

*私たちの活動を支えていただける会員を常時募集しています。詳しくは下記にご連絡ください。

八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場

〒193-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F 電話:042-686-0820

ホームページ:hachisoku.org ●測定料金は、誰でも気軽に測定できるように1000円です。